

戻る

学内のオンライン授業の情報漏洩防止のため、URLやアカウントの記載は削除しております。
最終更新日：2022年10月20日

授業計画や教室は変更となる可能性があるため、必ずUTASで最新の情報を確認して下さい。

法II

実定法学入門

【文一のみ履修可】

この授業では、法学部の専門科目への橋渡しとして、具体的な法的テキスト（判決文など）を素材としつつ、現代日本法（の一端）を読み解きます。

MIMA Search

時間割/共通科目コード	コース名	教員	学期	時間	
50449 CAS-FC1612L1	法II	増井 良啓	A1 A2	水曜1限	+ マイリストに追加
教室	駒場13号館 1331教室	講義使用言語	日本語、英語		
単位	2	実務経験のある教員による授業科目	NO		
他学部履修	不可	開講所属	教養学部（前期課程）		

授業計画

（あ）教科書に沿って進める部分と、（い）補助教材を用いて具体的な法的テキストを教室で会読する部分を、組み合わせます。能動的な参加を促すために、（う）参加者が小人数に分かれて意見交換を行うこともあります。

くわしい授業計画は初回にお話ししますが、おおまかなイメージをもていただくために、（あ）の教科書の項目建てを示しておきましょう。

CHAPTER 1 法はなぜ必要か？
CHAPTER 2 法のはたらき
CHAPTER 3 さまざまなルール
CHAPTER 4 法を使う
CHAPTER 5 法をあてはめる
CHAPTER 6 法を使う：応用編
CHAPTER 7 法を作る
CHAPTER 8 法学ってなに？

なお、13回のうち2回は、Lawson准教授による英語授業「Principles of Common Law I & II」を実施します。

授業の方法

教科書の該当箇所を事前に読んできたことを前提に、増井による短いレクチャー、補助教材（法律の条文や裁判所の判決文、行政庁の命令、審議会の答申、定型な契約書など、いずれも短いもの）の会読、簡単な課題に関する小人数意見交換、などを行う予定。具体的な進め方については、教室の環境や参加者の反応など現場の状況をみながら、その都度柔軟に対応します。

成績評価方法

定期試験と平常点。比率などは授業開始時にアナウンス。平常点は、授業中の発言によるほか、簡単な課題に対する200字程度の短い応答（複数回オンライン提出）によることを考えています。

履修上の注意

対面型が原則ですが、オンラインで行う回があります。

* 第一週（10/3～10/7）については、他の科目もほとんどがオンラインで開講されることから、第1回はZoomでのリアルタイムオンライン授業を実施します。水曜1限に自宅等で各自受講なさってください。

* その後は、前もって指定する特定の回につき、オンデマンド方式かPV方式かのいずれかでオンライン授業を行う可能性があります。具体的にどの回がそれにあたるかは、授業中にアナウンスし、十分に余裕をもって事前に掲示します。間違えないよう、よく確認してください。

[Open UTokyo OCW](#)

[Open UTokyo OPAC](#)

戻る